

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年11月15日 (2012.11.15)

【公表番号】特表2012-504416(P2012-504416A)

【公表日】平成24年2月23日 (2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-008

【出願番号】特願2011-530180(P2011-530180)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 4 0 B 40/06 (2006.01)

C 4 0 B 50/06 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z C C A

C 1 2 Q 1/68 Z N A A

C 4 0 B 40/06

C 4 0 B 50/06

C 0 7 K 16/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月27日 (2012.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 4 0、2 - 1 3、1 9 - 4 2、5 8 - 1 3 9、1 4 1 - 2 1 0 および 2 1 2 の何れか 1 つに記載されている核酸配列からなるオリゴヌクレオチド。

【請求項 2】

配列番号 1 4 - 1 6 および 4 3 - 5 7 の何れか 1 つに記載されている核酸配列からなるオリゴヌクレオチド。

【請求項 3】

配列番号 1 7 または 1 8 に記載されている核酸配列からなるオリゴヌクレオチド。

【請求項 4】

ライブラリー増幅、ライブラリー逆転写、および / またはライブラリースペクトラタイプ解析のための、請求項 1 ~ 3 に記載される何れかの配列の使用。

【請求項 5】

単鎖抗体 (s c F v) 発現のための核酸ライブラリーであって、前記ライブラリーは H 鎖可変ドメインおよび L 鎖可変ドメインをコードする配列のレパートリーを含み、前記ライブラリーの各構成員は H 鎖可変ドメイン、L 鎖可変ドメインおよびリンカー領域を含むオープンリーディングフレームを含み、ならびに前記ライブラリーは請求項 1 に記載の 1 つ以上のオリゴヌクレオチドを用いて作製される、ライブラリー。

【請求項 6】

リンカー領域が 2 0 アミノ酸未満をコードする、請求項 5 に記載のライブラリー。

【請求項 7】

リンカー領域が 1 5 アミノ酸をコードする、請求項 5 に記載のライブラリー。

【請求項 8】

ライブラリーの各構成員が、オープンリーディングフレームと作動可能に連結したプロモーターをさらに含む、請求項 5 に記載のライブラリー。

【請求項 9】

前記プロモーターが、T 7、S P 6 および T 3 からなる群から選択されるプロモーターである、請求項 8 に記載のライブラリー。

【請求項 10】

前記プロモーターが T 7 プロモーターである、請求項 9 に記載のライブラリー。

【請求項 11】

ライブラリーの各構成員が、そこに作動可能に連結した遺伝子の転写を促進することのできる 5' 非翻訳領域 (5' UTR) をさらに含む、請求項 5 に記載のライブラリー。

【請求項 12】

前記 5' UTR がタバコモザイクウイルス 5' UTR またはその活性断片である、請求項 11 に記載のライブラリー。

【請求項 13】

ライブラリーの各構成員がポリアデニン配列をさらに含む、請求項 5 に記載のライブラリー。

【請求項 14】

ライブラリーの各構成員が核酸バーコードをさらに含む、請求項 5 に記載のライブラリー。

【請求項 15】

前記核酸バーコードが 8 ヌクレオチドを含む、請求項 14 に記載のライブラリー。

【請求項 16】

ライブラリーの各構成員がエピトープタグをコードする核酸配列をさらに含む、請求項 5 に記載のライブラリー。

【請求項 17】

エピトープタグが FLAG タグである、請求項 16 に記載のライブラリー。

【請求項 18】

前記核酸配列が s c F v のリンカー領域の一部である、請求項 16 に記載のライブラリー。

【請求項 19】

ライブラリーの各構成員が、抗体定常部またはその断片をコードする核酸配列をさらに含む、請求項 5 に記載のライブラリー。

【請求項 20】

ライブラリーの各構成員がリボソーム休止配列をさらに含む、請求項 5 に記載のライブラリー。

【請求項 21】

ライブラリーの各構成員がペプチドアクセプターをさらに含む、請求項 5 に記載のライブラリー。

【請求項 22】

ペプチドアクセプターがソラレン C 6 分子を含むリンカーを介して共有結合する、請求項 21 に記載のライブラリー。

【請求項 23】

リンカーが、5' (ソラレン C 6) 2' Ome (U A G C G G A U G C) X X X X X X C C (ピューロマイシン) [式中、X はトリエチレングリコールリンカーまたは PEG - 150 であり、C C は DNA 骨格である] である、請求項 22 に記載のライブラリー。

【請求項 24】

単鎖抗体 (s c F v) 発現のための核酸ライブラリーを作製する方法であって、核酸組成物を提供するステップ、ここで前記組成物における核酸の少なくとも一部は抗

体可変ドメインをコードする少なくとも１つのオープンリーディングフレームを含む；および

請求項１に記載の１つ以上のオリゴヌクレオチドを用いて複数の抗体可変ドメインを増幅するステップ、

を含む、方法。

【請求項２５】

単鎖抗体（s c F v）発現のための核酸ライブラリーをスペクトラタイプ解析する方法であって、

核酸組成物を提供するステップ、ここで前記組成物における核酸の少なくとも一部は抗体可変ドメインをコードする少なくとも１つのオープンリーディングフレームを含む；および

請求項２に記載の１つ以上のオリゴヌクレオチドを用いて前記可変ドメインのCDR３領域を増幅するステップ、

を含む、方法。

【請求項２６】

単鎖抗体（s c F v）発現のための核酸ライブラリーを逆転写する方法であって、

核酸組成物を提供するステップ、ここで前記組成物における核酸の少なくとも一部は抗体可変ドメインをコードする少なくとも１つのオープンリーディングフレームを含む、および

請求項３に記載の１つ以上のオリゴヌクレオチドを用いて前記可変ドメインのCDR３領域を逆転写するステップ、

を含む、方法。